

小中学校の具体的な再編方法について

以下の点を中心に、委員の皆さまのご意見を伺います。基本計画7～8ページの地図も参考にしてください。また、理由についても可能な範囲でお願いいたします。

- ・再編の枠組み（どこどこを）
- ・再編後の学校の位置（どの校舎を使うか）
- ・優先順位（小中合わせて）
- ・その他留意事項

小学校	2016(H28)		2017(H29)		2025推計		基本計画による考え方 (学校規模ごとの基本的な方向性)
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
東郷小	517	17	499	16	447	14	—
豊田小	257	11	263	12	234	12	—
二宮小	128	6	122	6	99	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
茂原小	355	12	337	12	330	12	—
西小	255	11	248	11	188	6	方策を検討
五郷小	340	12	320	12	228	8	—
鶴枝小	210	8	197	7	146	6	減少する見込なら統廃合
萩原小	541	18	546	18	471	18	—
中の島小	366	13	345	12	322	12	—
本納小	175	7	164	7	127	6	減少する見込なら統廃合
新治小	43	5	43	6	24	4	速やかに統廃合
豊岡小	227	9	217	9	166	6	方策を検討
東部小	517	18	532	19	541	18	方策を検討 ※1
緑ヶ丘小	169	6	157	6	144	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
計	4,100	153	3,990	153	3,467	134	

中学校	2016(H28)		2017(H29)		2025推計		基本計画による考え方 (学校規模ごとの基本的な方向性)
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
東中	437	12	438	13	370	12	—
富士見中	418	12	412	12	327	10	—
茂原中	420	12	425	12	379	12	—
南中	486	14	495	14	419	12	—
本納中	252	8	236	8	172	6	減少する見込なら統廃合等
早野中	175	6	179	6	106	4	減少する見込なら統廃合等
西陵中	75	3	64	3	61	3	速やかに統廃合 ※2
計	2,263	67	2,249	68	1,834	59	

・基本計画による考え方は、H28とH29の学級数（いまの学級数）を当てはめたものです。将来的に適正規模を満たさなくなる学校は除いています。

※1 適正規模を超える学校についての方針は基本計画で定めていませんが、小規模である場合に準じて記載しました。

※2 西陵中学校は、原則としてH32.3.31で廃止し、富士見中学校に統合することを決定しております。

参考：児童生徒数と学級数の早見表

○小学校の場合

- ・全学年同人数と仮定し、1年～3年は35人学級、4年～6年は38人学級で試算。

48人以下	複式学級が存在	
49人～210人	6学級（全学年単学級）	
211人～228人	9学級程度（一部の学年が単学級）	
229人～420人	12学級	↑ 適正規模 ↓
456人～630人	15～18学級	

○中学校の場合

- ・全学年同人数と仮定し、1年は35人学級、2年～3年は38人学級で試算。

24人以下	複式学級が存在	
25人～105人	3学級（全学年単学級）	
106人～210人	4～6学級（1学年1～2学級）	
211人～228人	7～8学級（一部の学年が適正規模に満たない）	
229人～315人	9学級	↑ 適正規模 ↓
316人～420人	10～12学級	
421人～525人	13～15学級	
526人～630人	16～18学級	

意見記入シート

・意見交換する際の参考にお使いください。

	再編の枠組み	統合後の学校の位置	優先順位	理由・留意事項等
例	富士見中、西陵中	富士見中	1	<ul style="list-style-type: none"> ・西陵中の一小一中を解消し適正規模も満たす ・学区を考えると富士見中の位置が適当